

# 禁煙推進委員会だより

## 「第二次防府市健康増進計画の喫煙対策について」

防府市健康福祉部健康増進課／  
山口県医師会禁煙推進委員 原田 陽子

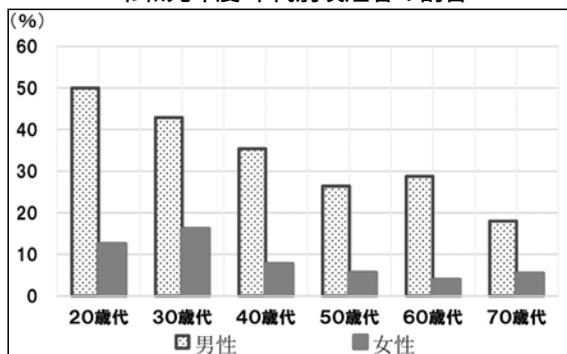
『みんなでつながり思いやる健やかなまち「ほうふ」』を目指して

防府市では、第二次防府市健康増進計画「健やかほうふ21計画（第二次）」を策定し、乳幼児期から高齢期までの、それぞれのライフステージに応じて、家庭・地域・学校・職域・行政等が一体となり、「栄養・食育」「歯と口の健康」「身体活動・運動」「日頃の健康管理」「喫煙」「こころの健康」「地域のつながり」の7分野の健康づくりに取り組んでいます。

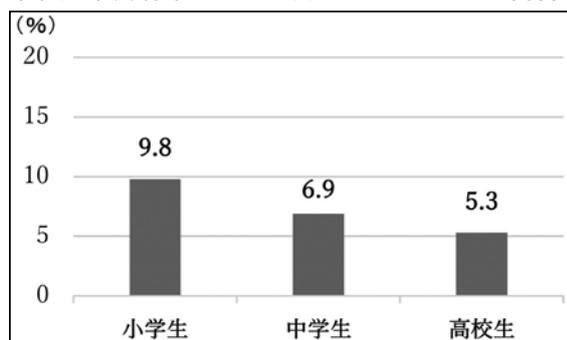
「喫煙」分野においては、「将来たばこを吸わない若者を育てよう」を目標に喫煙対策を展開しています。

### 防府市の喫煙の現状

令和元年度 年代別喫煙者の割合



令和元年度 将来たばこを吸いたいと思う人の割合



資料：R元年度健やかほうふ21計画（第二次）中間評価のためのアンケート

防府市の年代別喫煙者の割合をみると、男女別で一番喫煙者の割合が高い年代は、男性は20歳代（50%）、女性は30歳代（16.1%）となっています。

将来たばこを吸いたいと思う人の割合は、小、中、高校生と年齢が上がるにつれ減っているにもかかわらず、特に20～30歳代の男性の喫煙率は高い現状にあります。

### 「喫煙」対策

そのような現状を踏まえ、防府市では啓発活動として、世界禁煙デーに合わせて、公民館等への禁煙啓発ポスターの掲示や市広報やホームページで、たばこの害や禁煙相談窓口を周知しています。また、子育て世代でもある20～30歳代の男性の喫煙率が高いことから、子どもの身近にたばこの影響を与えない取組として、妊娠届出時や1歳6か月児健診、3歳児健診時に、同居家族に喫煙者がおられる人には、パンフレットを用いてたばこの害や禁煙外来、受動喫煙の影響等について伝えています。禁煙の意思のない保護者にたばこの害等を伝えても、軽く受け流されてしまうこともあります。受動喫煙については、子どもへの健康被害を心配され真剣に話を聞いてくださる人が殆どです。また、自宅ではどのような場所で喫煙されているのかをお聞きし、換気扇の下での喫煙は受動喫煙対策としては不十分な事等、受動喫煙防止に関する正しい情報を具体的に伝えています。保護者に正しい情報を伝えることで、将来たばこを吸わない若者を育てることにつながると考え、引き続き繰り返し伝え続けています。

そして今年度新たな取組として、喫煙対策も含めた第二次計画の各分野のポイントを網羅したリーフレットを作成中です。

今後も医療機関、学校、企業、地域、関係機関と連携し、喫煙対策に取り組んでいきたいと思っておりますので、県医師会員の皆様におかれましても、御協力、御指導のほどよろしくお願いいたします。

